



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF LIONS CLUBS

MULTIPLE DISTRICT 337 JAPAN

OFFICE OF DISTRICT GOVERNORS' COUNCIL
HAKATA KINDAI BLDG 9F
1-1-33, HAKATAEKI-HIGASHI,
HAKATA-KU, FUKUOKA 〒812-0013 JAPAN
TEL (092)432-7211

2018年9月吉日

ライオンズクラブ国際協会複合地区
ガバナー協議会議長 各位
(写：複合地区キャビネット事務局)

ライオンズクラブ国際協会 337 複合地区
ガバナー協議会議長 識名 安信
第3回ライオンズクエスト・フォーラム全国大会 in 福岡
大会委員長 佐藤 宜之
大会名誉顧問 不老 安正
大会実行委員長 本田 洋
大会実行副委員長 大村 哲也

第3回ライオンズクエスト・フォーラム全国大会 in 福岡開催のご案内

拝啓 時下ますますご健勝にて、ライオニズムの高揚にご精励のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、337 複合地区にて第3回ライオンズクエスト・フォーラム全国大会 in 福岡を2019年2月8日(金)、
2月9日(土)に福岡県春日市にて開催する運びとなりました。

今大会につきましては、詳細は同添付のチラシをご参照願いますが、ライフスキル教育/ライオンズクエストプログラムにご関心のある全国各地の学校関係者(教育・教育委員会職員)の皆様、青少年育成に関わる地域関係者・保護者の皆様、そしてライオンズクラブの会員の皆様にライオンズクエストライフスキル教育プログラムの学習・実践を経験いただき、ライオンズクエストプログラムの全国規模での普及拡大になることを切に願っての開催でございます。

1日目はMD337各地区での取り組みに関する発表と春日市須玖小学校 藤田校長よりの実践報告、そしてパネルディスカッションを予定しております。2日目には須玖小学校の公開授業を、午後からは九州国立博物館、大宰府天満宮へのエクスカーションも計画しております。

今回複合地区主催としては初めてのクエスト・フォーラム全国大会になり、第3回ライオンズクエスト・フォーラム実行委員会をはじめMD337ライオンズクラブメンバー一同、有意義な大会となるよう鋭意準備を進めてまいりますので、多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

敬具



MD337 presents

第3回ライオンズクエストフォーラム 全国大会 in 福岡

ここで未来を支える「生きる力」が見えてきます。

将来の社会を支える子どもたちのため

このプログラムが、子どもたちの心や体の成長を支えます。

これまで行われてきたLQ実践は、

各LCの努力で確実に定着しつつあります。

子供たちは良い変容を、つぶさに見せてくれています。

●とき

2019.2/8(金)・9(土)

●スケジュール

2/8(金) 春日市ふれあい文化センター

福岡県春日市大谷6丁目24

12:00 受付

13:00 大会式典

14:00~17:00 シンポジウム

終了後シャトルバスにて南福岡駅へ移動

南福岡駅から博多駅へ電車移動

懇親会●八仙閣本店 18:30~20:30

福岡市博多区博多駅東2丁目7-27

登録料 **10,000円**

2/9(土) 須玖小学校 (参加費無料
南福岡駅よりシャトルバスあり)

福岡県春日市須玖南2-71

9:00~ 公開授業事前セミナー・公開授業
(1年生から6年生)

13:00 須玖小学校出発→バスにて昼食会場へ
昼食後太宰府天満宮参拝→九州国立博物館観覧
現地解散(先着50名)

参加費 **5,000円** (昼食代・特別展観覧料込み)

●お申し込み

参加申込書に記入の上、ファックスで申込みください。

●参加申込書 2月8日 2月9日

所属クラブ

LC

お名前

●主催



ライオンズクラブ国際協会
337複合地区

〒812-0013福岡市博多区博多駅東1-1-33

はかた近代ビル9F

TEL.092-432-7211 / FAX.092-432-7233

MD337ではライオンズクエスト（LQ）事業を導入して、既に10年の年月を経過しました。この間LCIF交付金などを活用しながら、337各準地区において多彩な活動にそれぞれ取り組んできています。これらの様々な取り組みは、多くの他のライオンズクラブでも活用できる要素を包含し、日本レベルはもちろん国際協会レベルにおいても共有するに値するものであると考えます。



●本格的な導入は、須玖小学校校内型WSから始まった（福岡）

平成24年7月校内型WSから取り組みが始まった。その後毎年校内型WS（ワークショップ）とFU（フォローアップ）を重ね、浸透を図っている。道徳教育推進校、コミュニティスクールである春日市の小学校・中学校で実践を進め、毎年2月に地域公開全校参観授業としてLQ授業を行い、LQの有用性を地域社会や周辺関係者に向け発信し続けている。



●聴覚特別支援学校での活用（福岡）

平成22年から取り組みが始まった。聴覚特別支援学校においても、当初なかなかやる気を起こさせることが困難であった現場において、教員達がLQに取り組むことで多くの生徒たちの前向きな姿勢を得ることができるようになった。特に子供たちの自尊感情を育むことにおいて、このプログラムを有効に活かすことができた。



●薬物乱用防止教室でのLQの活用（宮崎）

平成23年11月から地元中学校で教室が始まり、現在までに小学校・中学校・高等学校の合わせて10校を超える学校で、LQの手法を用いた薬物乱用防止教室を開催している。LQを用いる最大の効用は、薬物の危険性を伝えるだけでなく、誘惑に打ち勝つ手法を子供たちに身に付けさせることができる点である。



●神崎市「教師塾」とのLQ協働開催（佐賀）

2008年から始まった神崎市内7小学校、3中学校から推薦された教員が入塾する「教師塾」へのLQの協働導入。ほとんど毎年協働開催しており10回目を迎える。人の結びつきからの学習促進や自己開示、自己肯定などにポイントを置いた実践的なLQプログラムは熱意をもって地域と共に教育にあたる教員育成を目指す「教師塾」の目玉として位置づけされている。



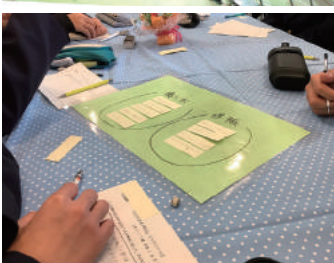
●中学校でのLQの全校的取り組み（鹿児島）

学校長主導の導入で、平成25年から前任校で年間各学年10時間の全校的なLQ授業の取り組みを行い、学力向上を含め様々な効果が確認された。平成28年から現任校においても同様の取り組みを進め、不登校生徒を減少させることなどの改善が見られるようになってきている。



●市独自予算も実現！行政と連携したLQ教員研修（沖縄）

浦添市の3つのLCで、平成20年から市内5つのすべての中学校においてLQの取り組みが始まった。平成26年からは浦添市立教育研究所とのタイアップで、市内小中学校の教員採用2年目研修として夏期WSを開催している。更に伊平屋村教育長の主導により、伊平屋村では教育委員会の主催で平成22年9月から、毎夏に島の教員全員参加の元、WSを重ねてきている。宮古島市では今後5年間で全教員がWSを受講するための教育委員会独自の予算化を実現。



●中学校教員のLQを活用した性教育などに活かした実践（熊本）

LQを身につけた教員が赴任し、LQ授業のみならず、通常の教科授業や学級活動、あるいは性教育の授業などにおいても、LQを活用して生徒の育成に取り組んでいる。LQを用いることで生徒たちに前向きさややる気が芽生え、クラスが心地よい場所となり、子ども達が活発となる効果が生まれている。